

# やひこ 議会だより

184号

平成29年1月25日

弥彦村議会

〒959 0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作

TEL (0256) 94 3131 (代)

TEL (0256) 94 1028 (直通)

FAX (0256) 94 3216

<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>

Eメール: [gikai@vill.yahiko.niigata.jp](mailto:gikai@vill.yahiko.niigata.jp)



平成29年元旦 初詣

12月定例会

経営改善調査業務委託（総括質疑）…………… P3

弥彦地内は行事・工事が目白押し（弥生さん）…………… P4

ふるさと納税順調に伸びる（委員会）…………… P5～7

4名の一般質問（一般質問）…………… P8～11

平成29年1月臨時会・あとながき …………… P12

「あいち」 謹んで皆さまのご健康とご多幸をお祈りいたします

弥彦村議会

# 12月定例会

12月6日～15日

平成28年第8回12月定例会は、12月6日から15日までの10日間の会期で開かれました。

条例制定1件、条例改正5件、補正予算6件、規約変更1件、契約締結1件、意見書1件、請願1件、計16議案を慎重に審議し、一般会計補正予算を賛成多数で修正可決し、修正部分を除く原案を賛成多数で可決。議員報酬及び費用弁償等に関する条例を全会一致で否決し、これ以外の議案を全会一致で可決・採択しました。

一般質問では、4人の議員が、質問を行いました。

## 定例会で決まったこと

### 平成28年度補正予算

一般会計

7323万9000円を追加し、総額は4億2624万5000円となりました。

歳入の主なもの

- ・国庫支出金 699万円
- ・県支出金 1141万円
- ・寄付金 5200万円
- ・繰入金 637万円
- ・諸収入 2000万円
- ・村債 2210万円
- ・歳出の主なもの
- ・総務費
- ・一般管理費 2207万円
- ・企画費 3359万円
- ・民生費
- ・社会福祉総務費 3133万円

障害福祉費 1652万円

衛生費

保健衛生総務費 2234万円

商工費

商工総務費 1126万円

土木費

道路新設改良費 7161万円

都市再生整備事業費 8460万円

予備費 1073万円

国民健康保険特別会計 5434万4000円を減額し、総額は9億4670万4000円となりました。

競輪事業特別会計 1億9274万2000円を追加し、総額は112億6800万円となりました。

温泉事業特別会計 25万8000円を減額し、総額は2224万2000円

となりました。

水道事業会計

収益的収入

850万5000円を追加し、総額は2億3513万8000円となりました。

収益的支出

981万4000円を追加し、総額は2億2277万6000円となりました。

特定環境保全公共下水道事業会計

資本的支出

1000万円を追加し、総額は3億6236万7000円となりました。

### 条例の一部改正

弥彦村税条例

弥彦村国民健康保険条例

例

弥彦村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

弥彦村職員の給与に関する条例

弥彦村職員の給与に関する条例

その他の議案

新潟県市町村総合事務組合規約の変更

弥彦競輪場照明設備設置工事請負契約の締結

公募型プロポーザル方式により、2億4840万円

で日本トーター株式会社（東京都）と契約を締結しました。

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願書

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

弥彦村農業委員会の委員等の定数に関する条例

# 総括質疑

12月9日

## 条例

農業委員会の委員等の

定数に関する条例

柏木議員 農業委員会が農地利用最適化推進委員を委嘱するが活動内容は。また、6名の委員の選任の方法は。

農林振興課長 担い手への農地の集積、集約、遊休農地の発生の防止、あるいは解消、新規参入の促進、高度化の促進等である。また、農業委員会総会に出席し、農地利用の適正化に関する意見を述べる。弥彦村を3地区に分け、推進委員を公募する。

推進委員は麓・観音寺・境江・村山・大戸・浜首で2名

弥彦・走出・上泉・山岸・山崎・中山で2名。井田・平野・鮎穴・矢作・美山で2名である。農業委員は平成29年7月から公選制から村長の任命制に移行されます。



農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募に係る説明会

## 一般会計補正予算

経営改善調査業務委託

田中議員 地方公営企業会計制度への移行を視野に、平成27年3月から28年3月までの1年間の競輪事業特別会計調査を、486万円をかけて実

施したいとの事だが、移行は正規の手続きで議会の承認・議決を得ればできる。

平成26年4月から施行された制度だが、まだ弥彦競輪事業には即さないのではないかなぜ今の時期唐突に、補正予算に挙げてきたのか村長の真意を伺う。

村長 今年の競輪事業は、2億4千万円程度の黒字となり、来年度はミッドナイト競輪を開催できるので、収支見通しは何とかつく。

小倉競輪場は平成30年からの移行を目指して、徹底的に合理化を進めている。弥彦もそこまでやりたいと思うが、色々なしらがみがあつて難しい。そこで外部の方に見てもらいたい。

移行はすぐやるつもりではない。小倉競輪場の実施状況を見て、勉強させていただいてから実施したい。そのため今から準備しておきたい。本多(啓)議員 形を変えて個別外部監査を一般会計で調査するものであり、年度末で計

上するには余りにも唐突すぎる。486万円の委託料も比較検討するものがなく妥当な額か疑問もある。当初予算で計上すべきである。

村長 コンサルタントから3カ月あれば調査可能という話である。

安達議員 経営改善調査は競輪事業のみから一般行政も含めたという内容は、監査委員の意見を考慮した調査計画内容と思うが、公認会計士であってもコンサルタント的な十分な技量があり、コンサルタントに精通しているのか。

総務課長 東京の清明監査法人で、収支改善まで含んだ調査報告書をいただけるということで見積もり依頼をした。

安達議員 代表監査員が言われるように、目的もなく、ただ調べてほしいという程度では曖昧な回答しか得られないのではないか。しっかりとした契約内容を願いたい。

総務課長 確定でなく見積もりなので議会の承認を得た後に委託契約をしたい。

文化財保護費

板倉議員 維持修繕費5万4000円はどこか。

村長 鈴木旧権宮司宅が登録有形文化財に指定されたので看板を製作したい。

雪害対策

板倉議員 消雪施設整備工事の458万8000円は、どこの工事が。

村長 井田地内の消雪用井戸で、井戸の掘り直しである。

板倉議員 井田地内のどこか他にも必要としている箇所が多くある。優先順位をつけてやって欲しい。

村長 井田児童公園付近である。

井戸を掘っても水が出ず、消雪パイプの敷設は難しい地区もあり、できるだけ小まめに機械除雪で対応する。

# 弥彦地内は行事・工事が目白押し

弥生さん 10月・11月村内では行事・工事がたくさんありましたね。

ギカイ君 そうですね、10月16日には弥彦駅開業百周年の

弥生 そうそう、旧弥彦観光ホテルの解体工事はどうなりましたか。

ギカイ 観光ホテルは昭和42年の建設。会社が倒産してから放置され心霊スポットのうわさまで広がりましたね。今年度国からの補助金をもらい解体することになりました。

弥彦観光ホテルの解体工事の説明を行い来年3月30日までに解体工事は完了の予定です。工事車両がたくさん通りますが、交通事故に注意をしながら工事をしてもらいたいですね。



記念式典がありました。これまで、弥彦観光に大変貢献してきましたね、現在は乗降客も少なくなりましたが、多いときは年間40万人以上の方が利用したそうです。弥彦線全線8駅の記念入場券も発売されました。これからも弥彦駅を大切にして行きたいですね。

弥生 旧弥彦グランドホテル跡地の工事が始まった話を聞きましたよ。

ギカイ 観光施設「おもてなし広場」で野菜などを売る直売施設がはじまり、来年3月にオープン予定です。直売所へ出荷する農家を募る説明会も開いたそうですよ。



ヤホールで開催された町村博覧会 in 弥彦

弥生 恒例の菊まつりも賑わいましたね。

ギカイ 毎年11月1日から24日、新潟県菊花展覧会「弥彦菊まつり」を開催しています。例年の「大風景花壇」、場内を華やかに彩る菊の力作に、多くの観光客が見入って

いましたよ。

弥生 菊まつり期間中の交通渋滞もあり、大変でしたね。

ギカイ そうですね、毎年、菊まつり期間中交通渋滞が発生しています。議会で質問がだされ、弥彦保育園付近で臨時駐車場の話も聞きましたよ。

弥生 ぜひ、来年は交通渋滞が解消出来るように期待しています。

弥生 菊まつり期間中に博覧会が開催されましたね。

ギカイ 11月3日から13日ヤホールで新潟県内の特産品を一堂に集めた、初めての町村博覧会が開かれました。弥彦村が県内の町村に呼び掛け開催したものです。出雲崎町と粟島浦村の海産物コーナーや阿賀町の雪椿うどんに人気が集まったそうですよ。

弥生 本日に10月・11月はたくさん催し物がありましたね。

ギカイ 12月になれば、忘年会シーズンとなり旅館・ホテルは忙しく、また二年参り、初詣と弥彦へたくさんお客様が来ていただけるよう願っております。弥生さん大変ありがとうございました。

付託された条例2案件、28年度補正予算1案件、規約変更1案件は、可決しました。

主な質疑事項

28年度補正予算

問 弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料については、競輪事業特別会計の地方公営企業会計への移行のためであるとの説明であった。議会で議決すれば移行できる。486万円をかけ委託する必要はない。また、監査委員、職員に対して大変失礼である。

問 この調査は6月・9月議会で否決された競輪会計の個別外部監査の延長線で、名称を変えた調査である。村長はなぜこの調査に固執するのか。

答 9月議会で監査委員より、「個別外部監査よりも専門コンサルタント会社や、競輪事業に精通した会計事務所への委託契約が効果がある」との意見を踏まえ提案した。

問 ふるさと納税が2500万円増である。現在の状況と返礼品の伊彌彦米の在庫は十分か。

答 11月末で9009万円、7891件である。昨年比で3・5倍、6400万円の増である。伊彌彦米JA等と調整し確保したい。

問 ふるさと納税額に対し、返礼品はどれくらいか。また、業務代行委託料の内容は。

答 返礼品は、お米、お酒などで、納税額の半額相当である。委託料は、ポータルサイト「さとふる」に約13%を支払いし、収益は4割弱である。

問 村民がふるさと納税を行った場合、村民税への影響は。また、昨年の件数と金額は。

答 村民税への影響はあるが、普通交付税の算定で減額分に一定の措置があるため、そのまま減収とはならない。昨年は、延べ30件、592万円であった。

問 弥彦参道杉並木保存会補助金の補正は、倒木危険防止対策とのこと。現在の管理本数と、危険木の本数は。

答 管理杉本数は120本程、毎年業者に調査委託し、危険性のある木を伐採している。危険木は1、2本ある。早目に手当てしていきたい。



返礼品として人気のお米とお酒

問 職員の残業が多く、来年度からミッドナイト競輪が始まるなど必要職員数の確保、委託可能な業務の民間委託を積極的に推進するなどし、職員の健康管理への配慮を。

答 財政的に十分な職員増員は難しいが、職員の健康管理はできる限り配慮したい。他に、消火栓修理20基の件、体育協会委託料、県防災行政無線管理運営費負担金、保育士の採用などの質疑がありました。

討論

弥彦村経営改善（競輪事業等）調査業務委託料について、以前に否決された個別外部監査を形を変えての提案であり、委託料を削除し、修正するようにとの反対討論に対して、改善するには部外者から中身を見てもらうことは必要であり、提案のとおり賛成であるとの討論があり、採決の結果、賛成多数で提案のとおり可決することに決定しました。

付託案件外

問 広報11月号に、ある任意団体からチラシが折り込みされた。他の団体から同じような要望があった場合、すべて引き受けるのか。

答 一部の区長さんから問い合わせがあった。今後はご指摘を踏まえ対応したい。

問 産業廃棄物の不法投棄の疑いで逮捕された村内業者に対して、村の対応は。

答 入札関係については、県土木部監理課に照会し、刑が確定してからとの回答をもらった。今後情報収集に努め対応を考えていく。

その他、10月の防災訓練、小学校の老朽化に伴う改修計画、指名競争入札を再実施した理由、教育課が2カ所に別れたことによる文化会館図書室の利用状況等に関する質問がありました。

付託された条例1案件、28年度補正予算5案件 請願1案件は、それぞれ全会一致で可決しました。

主な質疑事項

28年度補正予算

問 高齢者福祉費の在宅介護支援金117万円の増額理由と、増加人数は。

答 昨年の支給者は、13名であったが、現在25名に増えた。

問 御新田桜並木下緑化推進委託料の増額理由は。

答 全区間の下枝の除去を行うためである。

競輪特別委員会

ミッドナイト競輪は地元対策を万全に

12月9日

問 道路請負費は旧やひこ観光ホテル解体工事と関わる補正であるのか。

答 国庫補助金減額と旧やひこ観光ホテル解体工事が減額になった関係で、来年度予定路線整備の前倒し補正である。

付託案件外

問 新品種、新之助の収穫高と、来年度作付け予定数は。

また、一般農家も作付けできるのか。

答 今年は、2つの農業法人で、30アールの作付けを行った。来年度は、新潟県全体で1万トン。20倍の計画であり、弥彦村の研究会でも、20倍の予定である。作付けは弥彦村

の研究会に所属し、研究会から配分となる。

問 菊祭り期間中の車の渋滞がひどかった。改善策はあるのか。役場駐車場やJR電車の利用を呼びかけたり、やひこ号の土日運行を期間中できないか。

答 役場駐車場の利用も検討したい。やひこ号は燕市と定住自立圏の関係があるため、燕市と協議していきたい。

問 各保育園の来年度入園児童数の見込みは。また職員の増加はあるのか。

答 弥彦保育園は105名で二松保育園は111名、ひかり保育園は62名である。保育士も2名採用の予定。

要望 近隣の市と賃金が同じ

でないと職員は集まらないので、状況把握をしつかりしてほしい。

問 包括支援ケアシステムの進捗状況は。

答 在宅医療介護関係は、医療職と、介護職の連携が必要であり解決策検討会を開催している。認知症支援策は認知症の早期の発見や、保護目的の声掛運動の実施や、地域会議の開催を行っている。

問 講演会「命をつなぐバトシリレー」の感想は。

答 人間は助け合いの精神があつて素晴らしいと感動した。

問 藤見線の延長となる、美山・大戸線の開通予定は。

答 国の交付金整備事業であるため、開通に時間がかかる。

要望 開通時は、地域の方々と安全対策を協議してほしい。

問 燈籠祭りや、菊祭りの期間中、バス運行できないか。

答 財政的な面もあるが、その期間に限りできれば良いと考えている。

問 おもてなし広場整備計画案は、人の流れを誘導している施設か。また、近隣の施設と競合して勝てると考えているのか。

答 施設は十分だとは思っていない。フードコートや、交流棟をつくることで観光客から来ていただける。交付金を使って整備したい。また神社から近いので有利な条件だと思っている。

主な質疑事項

28年度補正予算

付託された28年度補正予算は、全会一致で可決しました。

問 バス・タクシー借上げ料の増額理由と競輪場無料送迎バスの運行状況は。

答 下半期の開催日程が決ま

ったことによる無料送迎バスの増額である。バスは、開催日に運行している。

問 競輪ファンへの開催告知

が最近少なくなっている。わかりやすく周知できないか。

答 インターネットを利用できれば、様々な情報を得るこ

とができるが、今後、新聞等の告知を検討したい。

### 付託案件外

**問** ミッドナイト競輪を開催する競輪場が増えるというに聞いているが、その影響は。

**答** 来年度、弥彦を含めて4場が、開始する予定である。2場が同時開催する日程はありと思うが、競合の無い日程

がとれるよう調整したい。

**問** ミッドナイト競輪の実施に向けての説明会で、周辺住民から不満もあったようだが、12区町内会は要望書を提出し同意した。要望に対しては、しっかりと対応してほしい。

**答** 要望書は「競輪事業の黒字化と村への財政貢献のため、やむを得ないと判断し同意する」とあり、周辺住民への迷惑は、できるだけかけないよう努力する。

**問** ミッドナイト競輪の職員体制は。

**答** 昼間は場外発売し、その後ミッドナイト競輪を開催するパターンが多くなる。

ミッドナイト競輪の勤務終了時刻は午前1時から2時頃。ローテーションで対応する。

**問** 少ない職員での対応は大変厳しいと思う。健康管理をどう考えるか。

**答** まさにそれが課題であるので、今後検討する。

**問** 三條新聞に予想広告を掲載してはどうか。また、神社近くのゲートを開放したら、観光客が入りやすいのではないか。

**答** 予想広告となると新聞社側の締め切り時刻等の都合もあり、調整が必要である。神社側ゲートについては、神社と交渉していきたい。

**問** ミッドナイト競輪の採算性と昼間の開催と比較して収益はどのくらいか。

**答** 1節(3日間)あたり約2000万円の収益を見込んでいる。昼間の開催は、1節で約3000万円の赤字である。また、ミッドナイト競輪は、2節開催すると昼間開催を1節減らすことができるため、その収益性は非常に高い。

## 採決

12月15日

総務文教委員長から付託案件の報告後、田中議員から一般会計補正予算の内、弥彦村経営改善(競輪事業等)調査業務委託料を削除する修正動議が提出され、討論が行われ、採決の結果、修正案が賛成多数で可決しました。

## 修正動議

田中議員 第2款総務費の中で、委託料486万円に対する修正動議を行う。

6月・9月の定例議会において否決された競輪事業の個別外部監査委託の、項目を変えての再三の提案ではないかと理解している。今回、主目的の1つとして競輪事業の地方公営企業会計への移行は、正規の手続きで準備し、議会の承認、議決を得ればこの調査業務委託をし

なくても、移行できるのではないかと。調査内容で財務報告の信頼性及び法令等の順守が挙げられているが、監査委員、そして職員に対して大変失礼ではないかと。修正予算案中、調査委託料の削除を求める修正案を提出する。それ以外の原案については賛成である。

## 修正案に対する反対討論

板倉議員 修正案に対する反対意見を述べる。

総務省は、新地方公会計制度実務研究会報告書を平成19年に公表した。これは、単式簿記と現金主義で行なっていた行政の会計を複式簿記と発生主義に大きくかじを切る内容である。

今回、弥彦村経営改善業務調査委託料の補正が出された。小林村長就任後の財務状況に関して、今まで2回は前村長時

代の監査である。

今回、弥彦村監査委員から指摘のあった10年前の土地開発基金のうち「土地について基金から除外することが必要と考える」と言う意見があった。違った目で見ると「セカンドオピニオン」から診断してもらったことも必要かと思う。

業務上における非効率な部分の見直しである。長年同じ仕事に従事していると気が付かないことも多くあり、村が発展するためには、どうしたら良いか知恵を出す場として理事者側と前向きな討論を、議論する場が議会と私は考えている。村の会計全般を考え直す良い機会ではないかと考え、今回の修正案については反対である。

花井議員 今回の提案は、調査の対象、期間、経費等を大筋において、議会に対応したもので、修正案には反対である。

## 修正案に対する賛成討論

本多(啓)議員 特別会計で2回にわたりこの監査が競輪事業の発展に寄与する疑問があり否決された経緯がある。この提案は特別会計から一般会計に提案方法を変えたものであり到底容認できない。小熊議員 二度に渡り否決された案件を提案の形を変えての提案に対して、村長の議会に対する姿勢そのものに違和感を覚える。今回の調査目的として、全会計の費用対効果を中心に調査することであるが、費用対効果の判定は非常に難しいと思われる。三カ月余りの短期間で到底しっかりとした調査が可能かどうか疑問なので修正案に賛成する。

## 平成29年度の主要施策は

### 村長 = おもてなし広場完成と 子ども医療費助成を高等学校卒業まで拡充



安達丈夫議員

質問 弥彦村が生まれ変わろうとして、国の地方創生加速化交付金事業を活用して、現在、おもてなし広場の整備や旧やひこ観光ホテルの解体工事が進められている。平成29年度においても継続でこれらの工事が進められると思うが、予算編成の時期でもあり、どのような施策を計画されているか伺う。

村長 弥彦村の主産物は米。ブランド化を行った伊彌彦米のPRや生産者と連携をとりながら、ブランドイメージの定着向上を図りたい。



おもてなし広場イメージ図

子供を連れて利用できる子育て施設がほしいという意見・要望があり、新たな施設を建設せず、子育て支援基金と既存の施設、夢の木ハウスを休日に開放したいと考えている。

子ども医療費助成事業は、対象年齢を中学卒業までから高校卒業までに拡充し、保護者の経済的負担の軽減を図り、安心して子供を産み、育てることができる環境づくりを予定している。

定住は、村内の空き家情報を提

い。本格生産に入る新之助は収穫適期の分散が図られ、平場地域において将来とても有望な品種だと期待している。2020年東京オリンピック・パラリンピックを活用し、新虎通りで自治体の情報を魅力的に紹介するブースを出店し、弥彦村の特産品観光名所を広くPRしたい。

子育てについては、子ども・子育て会議において、休日に小さい

供し、独立開店、定住に結びつけ、村の移住促進事業の周知も引き続き行い、村の人口減少に歯止めをかけていく。

平成29年度当初予算編成は、今年度と同様に「新規増額事業の財源は既存事業の廃止・縮減をもつて捻出する」を大原則として、各施策事業についてはしっかりと内容を精査し、引き続き財政健全化に向けた予算編成に務めたい。

質問 文化会館の客席天井の改修、浄水場の整備、近い将来で小学校の建て替え等を考えると莫大な経費が必要。教育施設整備基金など条例化して将来に備えては。

村長 基金はその目的に使用するためのもの。少しずつでも、今からやれば何とかできるのかなと思う。ふるさと納税及び競輪事業で少しは余裕が出ているので将来に備え、蓄えていきたいと思う。

(注)新虎通り「東京都港区虎ノ門から新橋に至る約1.4kmの区間の愛称。





柏木文男議員

## 児童・生徒の自転車における 交通事故防止を

教育長 = 学校全体の計画・年間計画を定め、  
指導を計画的に行う



弥彦小学校4年生の交通安全教室  
(巻中央自動車学校)

質問 自転車は気軽に乗れるため日常生活における交通手段になっている。小学校高学年になると自転車利用の範囲が広くなり、中学生は通学利用する。県内の自転車の交通事故は、昨年1年間で759件の人身事故があり13名が亡くなった。

交通事故発生時間は、小学生は帰宅後の事故が多く、中学生は登下校時に発生している。

自転車も乗用車と同じ車両で、交通事故を起こすと、刑事上責任を問われる。相手にケガを負わせた場合、民事上の損害賠償責任が発生する。教育委員会は小・中学校の児童・生徒及び保護者に対し

交通安全意識対策を行っているが、次の項目について伺う。

小学校では自転車利用にどのような方法で安全指導を行っているか。中学校では登下校の自転車利用及び家庭に帰ってからどのような方法で安全指導を行っているか。

児童・生徒が相手にケガを負わせた場合は民事上の損害賠償責任が発生する。教育委員会では、保護者に対してどのような話し合いを行っているか。

教育長 安全指導は学校全体の計画・年間計画を定め、指導を計画的に行う。6月に3・4年生に自転車教室を実施、7月は全学年の自転車乗り方指導を行っている。4年生は自動車学校で交通安全

教育を実施した。必要に応じ、交通事故防止に関する文書を配布し、児童及び保護者へ注意喚起を促している。

中学校は年度初めに、交通安全教育を行い、警察署・村の交通安全指導員を招いて安全な自転車の乗り方の講話を聴き、新入生の自転車乗車実技指導を行った。春・秋の交通安全運動に、朝・夕の街頭指導を行い、長期休業前に保護者懇談会で協力をお願いしている。

保護者との話し合いは、教育委員会では行っていない。定例教育委員会、定例校長会があり危険事案等については適切な指導が行われるよう学校に依頼している。

質問 小学校1・2年生に交通安全指導がないため、危険と感じる。友達同士で村外に行くと思うが自転車での約束事はあるのか。

教育長 1年生は自転車の指導はしていない。通常の交通安全指導で踏切の渡り方、道路の歩き方等について指導している。友達同士と村外への約束事は確認して報告したい。

質問 交通事故が起きた場合、教育委員会へは地区・家族から連絡があるのか。

教育課長 学校経由で交通事故、自転車事故を含め上がってくる。

質問 自転車事故で判例もある。女性と正面衝突をして62歳の方が意識不明となり、9千500万円の高額賠償命令がでている。

教育課長 任意保険は9年間児童・生徒に対して他人に対して損害を与えた場合の賠償保険の案内をしている。

# インクルーシブ教育について

教育長 = 早い段階での取り組みをしたい



板倉 恵一 議員



期待されるインクルーシブ教育

質問 初めに質問の前にインクルーシブ教育について説明したい。これも福祉施策の一環であり、障がいのある子どもを含む全ての子どもに対して、一人一人の教育的ニーズにあった適切な教育支援を通常の学級において一緒に進める教育である。個々の児童・生徒の教育ニーズに合わせた学びの場である。1970年に障害者基本法ができ、2014年に障害者権利条約を国が認めてインクルーシブ教育システムができた。この法に基づき、障がいの者の社会参加を積極的に推進するもので、世界の潮

流にもなっている。就学前から卒業後までを見通した一貫した教育、支援体制の構築、これが最も本質的な視点である。災害協定を結んだ青木村は、インクルーシブ教育を2年前から始めている。このシステムを取り入れている学校が増えており、全体の児童・生徒の学力向上にもつながっている。

弥彦村は、就学前支援として福祉行政下にある保育園への教育委員会による支援は、課題もあるが、将来の子どものため、保育園・小学校・中学校と明確にした連携や支援システムと、授業に情緒障がい者を含めたインクルーシブ教育の導入について問う。

教育長 2014年に障害者の権利に関する条約が批准された。将来的に障がいがあっても障がいのない子どもたちと一緒に教育が受けられることを目指している。併せて小・中学校における通常の学級はむろんのこと、通級による指導、特別支援学級での指導・支援と連続性のある多様な学びの場も非常に必要と考える。今それらについて小・中学校でも取り組みをしているが、更に研究・研修が必要と思う。今、特別学級の子ども

たちと通常の学級の子どもたちとの交流授業も積極的に行なっている。

青木村へは、実際に行き大変勉強になった。弥彦村では先生方が小学校で特別支援の勉強会の研修も行なっている。

近年、乳児期に於ける就学前支援として通常学級の発達障がいを抱えた子どもたちについても、早い段階で適切な対応が重要といわれている。教育委員会としては、保育園業務の教育課への移行を検討したい。

質問 具体的な計画はどうか。

教育長 子育てファンドでの子ども・子育て検討委員会等では、今の保育園のような預かり方が良いとの結論なので認定子ども園の方向は目指さないが、教育の質的向上の要望もあり、保育園業務の29年度への移行も考えている。

質問 小・中学校では、専門的な研修制度があるが、保育士はない。専門的な研修はできないか。

教育長 保育士への指導・支援。保・小、連携の強化も重要と考える。必要によっては大学等専門家の指導も得たい。



本多啓三議員

## 課題山積・おもてなし広場 整備計画について

村長 = おもてなし広場だけが  
繁栄するとは思っていない

質問 弥彦グランドホテルは、老朽化により廃業され解体後の土地は5000万円、村へ譲渡されたホテルは黒字経営で年間5000万円程の税や使用料など貢献を頂いた企業である。跡地利用計画については、廃業後に失われた税等をいかに確保できる利用計画を構築するか喫緊の課題ではないか。この計画が完成した後、村への貢献度はどのように考えるか。

村長 民間の優良企業から進出していただければ、雇用の増大、税収等の貢献につながるが、非常に難しい。それを踏まえて国の交付金を使い施設を作り、受け皿としての環境づくりをしたい。おもてなし広場だけが繁栄するとは思っていない。

質問 農産物直売所が建築中である。事業者として決定した(株)弥彦さややは、村長後援会の役員が立ち上げた会社と聞いているが、村長 私が後援会の役員に頼んだ。

質問 先の全員協議会で弥彦さやから向こう5カ年間の損益計算書が示され、29年度は年間1億3320万円の売上、純利益6111万円と予測、1日平均の売上が36万円。狭いスペースで2000を超える品ぞろえのコンビニの採算ラインが1日25万円と言われている。村長や弥彦さやの役員も赤字であり現在も営業成績は芳しくないと言っている。本当に経営能

力があるのか、この損益計算書は達成可能か。

村長 事業者を公募しヒアリングをした結果、これなら大丈夫と判断した。民間の力を信じるしかない。

質問 弥彦さやを事業者として認定した段階で、損益計算書は提出されていたと思うが、妥当と思つた根拠は何か。

副村長 国の農産物直売所の調査資料を基に同規模程度の販売実績を基本として妥当と判断した。

質問 県の調査によれば、直売所数が615カ所、年間売上134億円、1カ所当たり2500万円、1億円を超える直売所が35カ所、売場平均面積が283㎡、約86坪、村が進めている直売所は159㎡、



おもてなし広場農産物直売所 完成予想図

48坪。弥彦さやから示された損益計算書は絵に描いた餅のように思える。契約は3カ年、利益が出なければ使用料は免除。1年間の経営状況を見て、無理な損益であるなら契約を破棄すると弥彦さやに伝えるべきである。

副村長 損益は弥彦さやの経営努力であり、契約は3年ごとの更新である。

質問 地方創生拠点整備交付金を活用し、フードコート、喫茶店、土産物店、そば道場。これが地域活性化に繋がるのか。もう少し時間かけ慎重に事を進めるようにと言うのが、昨日全員協議会の大多数の意見であるが。

村長 拠点整備交付金でハードも対応可能となり、議会に示した案を大幅に変更した中で議会にとりあえず提示説明をした。

質問 弥彦観光の核は神社である。発想を変えて2つ目の核として民間の資金とノウハウを使って村内外から観光客を呼べるようなものを構築できないか。

村長 民間企業は利益が見えないと動かない。今がチャンスと捉えているのでこのまま進めたい。

要望 この整備計画が、非常に大きなリスクが見えるので慎重に事を進めるよう再三申し上げてきた。おもてなし広場がお荷物広場にならないよう願っている。

# 1月臨時議会

1月18日

ふるさと納税1億6000万円を増額補正

平成29年第1回1月臨時議会が開かれ、村長から提案された補正予算1案件は、全会一致で原案のとおり可決しました。



平成29年1月臨時議会

## 平成28年度一般会計補正予算

1億8034万円を追加し、総額は42億658万5000円となりました。

### 歳入

- ・国庫支出金.....2034万円
- ・民生費国庫補助金.....
- ・寄付金.....1億6000万円

がんばれ弥彦ふるさと寄付金

### 歳出

- ・総務費.....1億395万6000円
- ・企画費.....
- ・民生費.....
- ・社会福祉総務費.....2034万円
- ・教育費.....
- ・小学校 学校管理費.....408万3000円
- ・予備費.....5196万1000円

## 12月定例会議決結果

議案	本多(啓)	板倉	田中	柏木	安達	本多(隆)	小熊	花井	赤川	採決結果
村税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
農業委員会の委員等の定数に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度一般会計補正予算(第4号) 修正案	○	×	○	×	○	○	○	×	○	可決
平成28年度一般会計補正予算(第4号) 修正部分を除く原案	○	×	○	×	○	○	○	○	○	可決
平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度競輪事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度温泉事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成28年度特定環境保全公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新潟県市町村総合事務組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
新潟水俣病全被害者の救済と問題解決に関する請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
弥彦村議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	×	×	×	×	×	×	×	×	×	否決
弥彦村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
弥彦村職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
弥彦競輪場照明設備設置工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

## あとがき

新年あけまして

おめでとうございます。  
平成28年度のふるさと納税額が3億円を超えました。新年から弥彦村にとつては、大変うれしいニュースです。納税頂いた方々には本当に感謝したいと思います。財政規模がそう大きくはない弥彦村には、大変貴重な財源になる。この納税に応えるべき事業を、真剣に検討していかなければならないと思う。

新潟市を中心とした連携中枢都市圏が、来年度から始まる。三条、燕加茂、田上、弥彦、聖籠、五泉、阿賀野、阿賀、胎内の12市町村で形成される予定。取り組みの方向性として、圏域の観光資源を生かした交流人口の拡大や、交通アクセス拠点の整備などを盛り込んでいる。

早速、公共施設の相互利用をはじめとした連携事業が実施される予定。弥彦村には、メリットが多く見込めて大きなチャンスと思う。何もしないのではなく、これを活かす工夫をみんなで考え積極的に提言しよう。

(下)

発行責任者 武石雅之  
編集委員会 本多隆峰 柏木文男  
田中満男 板倉恵一  
印刷所 弥彦村 イナバ印刷